

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

滋賀ほんまもんの家

グループの名称

滋賀らしい環境こだわり住宅、つくり手ネットワーク

直近採択グループ番号

06-0083-0503

(グループ代表者)

代表者名

岩波 正

代表者印

代表者所属先

三和総合設計株式会社

代表者所在地

滋賀県大津市滋賀里4丁目11番3号

代表者電話番号

077-525-4097

(グループ事務局)

事務局事業者名

三和総合設計株式会社

事務局担当者名

岩波 陽子

印

事務局郵便番号

520-0006

事務局所在地

滋賀県大津市滋賀里4丁目11番3号

事務局電話番号

077-525-4097

事務局FAX

077-528-5460

事務局担当者E-mail

sanwa-ss@mx.biwa.ne.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
					0	m <sup>2</sup>			
各施工業者に平均的に配分できるように配慮する。期の途中で聞き取り調査をし、着工の予定の無い申し出があれば、配分の見直しを行う。									
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 滋賀ほんまもの家	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 滋賀らしい環境こだわり住宅、つくり手ネットワーク	(結成年) 2009 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0083-0503	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	滋賀県が提唱する「滋賀らしい環境こだわり住宅」に基づく住宅。 産材の活用と設計者、施工者、木材関係者の協働による住まいづくり。	県 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	合板や面材を多用せず、伝統構法や在来軸組構法による構造形式を採用する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	美しい琵琶湖や緑濃い山々の自然環境を守り、のどかな田園風景や集落の落ち着いた佇まいを伝えるとともに調和のとれた魅力ある町並みをつくる。 地域の地形、気候、生活様式等に則し、長期にわたり、良好な居住環境が維持され、終年とともに風格が備わっていくような住宅配置、形態、意匠、色彩、素材などの採用に努めるとともに、地域を特徴づける地場産素材等の活用に努める。 うるおいのある景観ならびに敷地内の微気候を形成するように植栽や生垣を設置し、敷地内緑化に努める。	○
④①～③の背景	滋賀県は、気候風土としては琵琶湖と、琵琶湖を取り囲む平地や山々とで構成され、県域は琵琶湖集水域とほぼ一致し、琵琶湖の水質をはじめとする環境の保全に関する意識が高く環境先進県と言われている。また、近江商人発祥の地、滋賀には、売り手の都合だけで商いをするのではなく、買い手が心の底から満足し、さらに商いを通じて地域社会の発展や福利の増進に貢献する「三方よし」の精神が根付いている。 地域材は県土の約50%が森林で、伐期を迎えたスギ、ヒノキの人工林が豊富にある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	「滋賀らしい環境こだわり住宅」の基準仕様による。 土台の断面寸法は、主要な柱と同寸法以上。構造耐力上主要な柱の断面寸法は120mm×120mmとする。 ヒノキは柱や土台として、スギは柱や梁などの横架材、または板材などに使用する。びわ湖材産地証明制度によって証明されたびわ湖材(主にスギ、ヒノキ)を主要構造材(柱、梁、土台)の総材積の50%以上使用する。びわ湖材産地証明制度によって証明されたびわ湖材(主にスギ、ヒノキ)を2m3以上使用する。	◎
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: びわ湖材産地証明制度によって証明されたびわ湖材を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
②-1 建材・資材調達のコスト削減	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	■ ない □ ある → 内容:	
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: 施工者は指定箇所の記録をとり、工程管理の実施と共に現場写真台帳を作成する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: 設計者は指定する工程毎に検査を行い、工事完了後施工者の作成する写真台帳を確認する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: ・施工者は数量明細を明示した見積書を作成し、施主へ説明する。 ・設計者は見積書を査定し、その結果を施主へ説明する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: イベントやメディアを利用したPRを行うとともにパンフレットを作成し配布することにより、「ほんまもの家」の内容を県民に広く周知させていく。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: グループ内で導入済の構成員がいる。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 各構成員個々の取り組みがある。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: グループ内で加入済の構成員がいる。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 各構成員個々の取り組みがある。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	県産材を利用した地域型住宅であっても、長期優良住宅や認定低炭素住宅の建設が可能なることをユーザーに知らせていく。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 滋賀ほんまもんの家	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 滋賀らしい環境こだわり住宅、つくり手ネットワーク	(結成年) 2009 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0083-0503	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成30年度対応方針】		
a	① 住宅蓄積履歴情報のメンテ整備基準	◎、○ 記入欄
①-1	内容・蓄積の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:
①-2	情報サービス機関の活用	■ ない □ ある → 内容:
①-3	履歴情報蓄積の確認手法	■ ない □ ある → 内容:
②-1	点検の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:
②-2	補修の共通ルール	■ ない □ ある → 内容:
②-3	点検補修実施の確認手法	■ ない □ ある → 内容:
③-1	住まい管理勉強会の実施	□ ない ■ ある → 内容: 県民に対し、住まいづくりフェスタなどの開催を通じ、住まいに関する講座などを行う。
③-2	DIY体験会等の実施	□ ない ■ ある → 内容: 県民に対し、住まいづくりフェスタなどの開催を通じ、体験会などを行う。
③-3	その他の相談会等の実施	□ ない ■ ある → 内容: 県民に対し、住まいづくりフェスタなどの開催を通じ、相談会などを行う。
④	維持管理委員会等の設置	■ ない □ ある → 内容:
⑤	その他の維持管理の手法	■ ない □ ある → 内容:
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない ■ ある → 内容: 廃業、倒産がグループ内に発生したとき、委員会が他の施工会社を選定する。
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	■ ない □ ある → 内容:
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成30年度対応方針】		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	◎、○ 記入欄
②-1	品質管理のための共通ルール	■ ない □ ある → 内容:
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	■ ない □ ある → 内容:
③-1	需給計画の策定	■ ない □ ある → 内容:
③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない ■ ある → 内容: 研修は随時行い、現場の開放、見学については特に事情がない限りすべての住宅を対象とする
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	■ ない □ ある → 内容:
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない ■ ある → 内容:
c	① 新たな技術等の導入	■ ない □ ある → 内容:
②	新たな技術等の開発	■ ない □ ある → 内容:
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 滋賀ほんまもんの家	(地域型住宅供給対象地域) 滋賀県全域																							
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 滋賀らしい環境こだわり住宅、つくり手ネットワーク	(結成年) 2009年																							
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0083-0503																								
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																									
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																									
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																							
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台の断面寸法は、主要な柱と同寸法以上。構造耐力上主要な柱の断面寸法は120mm×120mmとする。ヒノキは柱や土台として、スギは柱や梁などの横架材、または板材などに使用する。びわ湖材産地証明制度によって証明されたびわ湖材(主にスギ、ヒノキ)を主要構造材(柱、梁、土台)の総材積の50%以上使用する。びわ湖材産地証明制度によって証明されたびわ湖材(主にスギ、ヒノキ)を2m <sup>3</sup> 以上使用する。	◎																						
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎																						
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">羽柄材</td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																					
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
羽柄材	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																					
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	搬出業者 → 製材業者 → 工務店 (プレカット業者が入ることもあるが、製材業者、工務店、設計事務所が共同して管理する)																							
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○																						
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	○																						
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																						
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																						
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																						
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																						
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○																						
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の伝統的な材料を採用することが基本とする。	○																						
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の伝統的な意匠を採用することが基本とする。	○																						
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で導入済の構成員がいる。	○																						
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各構成員個々の取り組みがある。	○																						
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で加入済の構成員がいる。	○																						
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 各構成員個々の取り組みがある。	○																						
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。																								
カ. その他																									
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																							
東日本大震災の復興に資する取組	特になし																								
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし																								

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 滋賀ほんまもんの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 滋賀県全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 滋賀らしい環境こだわり住宅、つくり手ネットワーク	<small>(結成年)</small> 2009 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0083-0503	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
ほんまもんの家は県産材を利用する住宅である。 そのため、最近多用されている集成材などに比べ、寸法安定性に劣るところがあるが、十分な乾燥と高い製材技術、モルダー加工などを利用し、気密性のできるだけ高いすまいを目指す。 また、基準にはないが、耐久性の高い国産材(県産材)を利用することにより、住いの耐用年数を高めることができ、省エネにつながるものとする。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。